

日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会開催報告

日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会実行委員会

日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会を、福岡市早良区の九州大学西新プラザにて開催した（主催：日本活断層学会、後援：福岡市）。11 月 10 日（金）午後と 11 日（土）午前の一般研究発表には、101 名（会員 63 名、非会員 22 名、学生 16 名）に参加頂いた。10 日（金）夕方にはポスター発表コアタイムを行った。続いて、63 名（会員 43 名、非会員 10 名、学生 10 名）に参加頂き、同会場にて意見交換会を開催した。11 日（土）の一般研究発表後には、2023 年度日本活断層学会表彰式を執り行った。11 日（土）午後には、一般の方を含む約 110 名の方に参加頂き、一般公開シンポジウム「九州のテクトニクス」を開催した。大会後の 12 日（日）には、38 名（会員 18 名、非会員 11 名、大学生 8 名、中学生 1 名）の有志で巡検「福岡県の活断層」を実施した。



10 日（金）13:00 に鈴木康弘会長による開会の挨拶が行われ、11 日（土）午前の部とあわせて 16 件の口頭発表、26 件のポスター発表が行われた。口頭発表では、地形、地質、物理探査、測地学など、多様な観点からの研究成果が紹介された。ポスター発表では、会場をうめる多くの参加者により、活発な議論が行われた。本大会では、若手優秀講演賞対象の発表が 19 件と、若い力を感じる発表も目立った。ポスター発表コアタイムの後、新型コロナウイルスの影響で中止されていた意見交換会が 4 年ぶりに開催された。鈴木康弘会長の挨拶に続いて、九州大学西島潤会員より乾杯の発声を受け、歓談は大いに盛り上がりを見せた。最後には、安江健一行事委員長の挨拶、2024 年度大会実行委員会から廣内大助会員の挨拶、2023 年度大会実行委員会の副田宜男委員長の締めで散会した。

11 日（土）の一般研究発表終了後には、論文賞と若手優秀講演賞の表彰式が開かれ、鈴木康弘会長による表彰が行われた。その後、堤 浩之副会長の挨拶をもって秋季学術大会を閉会した。

2023 年度の論文賞ならびに若手優秀講演賞受賞者は、次の通りである。

○論文賞（敬称略）

山内一彦・山中 蛍「中国山地西部、簡賀断層の断層変位地形と変位ベクトル、および平均変位速度」（活断層研究 54 号掲載）

○若手優秀講演賞（敬称略）

三條竜平「カルデラ境界断層のテクトニックな再活動：活断層研究とカルデラ研究の統合的視点」（共著者：須貝俊彦）

岩佐佳哉「熊本地震の地表地震断層上における余効すべりの 7 年 5 ヶ月間の経時変化とその特徴―日奈久断層高野―白旗区間を対象に―」（共著者：熊原康博・住谷侑也・田渕雄一朗・坂本文隆）

原 勇貴「2023 年トルコ、カフラマンマラシュ地震における断層幾何形状から得られた破壊伝播確率」（共著者：遠田晋次）

小倉祐弥「宇宙線生成核種 ^{10}Be を用いた深度断面法による活断層の平均変位速度推定―根尾谷断層、能郷地区中位段丘面を例として―」（共著者：金田平太郎・太田凌嘉・松四雄騎・松崎浩之）

山下日和「2016 年熊本地震の地表地震断層周辺における地表変形特性の分析」（共著者：鈴木康弘・向山 栄・室井翔太・山下久美子・福場俊和・村木昌弘・杉本 惇・小俣雅志）

野上風馬「ETAS 地震発生シミュレーションによる背景地震の規模別頻度分布評価」（共著者：野口 朗・隈元 崇）

11 日（土）午後には、シンポジウム「九州のテクトニクス」が一般公開で行われた。鈴木

康弘会長の開催挨拶の後、司会の青柳恭平氏による趣旨説明がなされた。その後、地震学、活断層、測地学、地質学、物理探査など、地球科学の様々な観点から九州のテクトニクスを考える趣旨のもと、以下5件の講演が行われた（敬称略）。講演の後、宇根 寛副会長による挨拶をもってシンポジウムを閉じた。

松本 聡（九州大学） 「九州の地殻活動場」
堤 浩之（同志社大学） 「活断層データから見た九州のテクトニクス」
西村 卓也（京都大学） 「測地観測に基づく九州の地殻変動と活断層分布」
大橋 聖和（山口大学） 「古応力解析から見た九州中部の第四紀テクトニクス」
西島 潤（九州大学） 「重力異常から見た北部九州の活断層」

12日（日）には巡検「福岡県の活断層」が行われた。巡検については、文末に掲載の参加者からの報告をもって開催報告とする。

九州で初めての開催となった秋季学術大会は、多くの方々にご協力・ご尽力を賜り、滞りなく実施することができた。九州大学には会場を提供頂き、とりわけ、西島潤会員には会場の手配にご尽力頂いた。九州大学大学院工学研究院と西南学院中学校・高等学校からはポスター展示パネルを借用した。産業技術総合研究所地質調査総合センターの宮下由香里会員には、九州北部の活断層に関わる市民向けのポスターを新たに作成・展示頂いた。国土地理院には都市圏活断層図の一般展示を頂いた。福岡市市民局地域防災課には福岡市の防災アプリの普及促進ポスターを展示頂いた。朝倉市および九電旅行サービスには巡検に協力頂いた。報道関係者のみなさまには本大会の開催をニュースや新聞記事などで紹介頂いた。心よりお礼申し上げます。

最後に、後援の福岡市、（一財）福岡コンベンションビューロー、シンポジウム講演者のみなさま、学会事務局、関係委員会のみなさま、アルバイトを引き受けて頂いた九州大学・島根大学の学生のみなさま、運営スタッフとして参加頂いた西日本技術開発（株）地熱部のみなさまには大会開催・運営にお力添えを頂いた。深く感謝申し上げます。

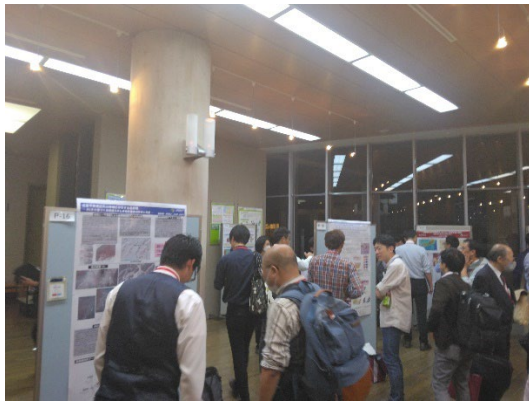
写真で振り返る 2023 年度活断層学会秋季学術大会



1) 開会挨拶（鈴木康弘会長）



2) 一般研究発表・口頭発表



3) 一般研究発表・ポスター発表



4) 意見交換会乾杯挨拶（西島 潤会員）



5) 表彰式・論文賞の表彰



6) 表彰式・論文賞の表彰



7) 若手優秀講演賞受賞者



8) 閉会挨拶（堤 浩之副会長）



9) シンポ・趣旨説明（青柳恭平会員）



10) シンポ閉会挨拶（宇根 寛副会長）

巡検参加報告

富山大学大学院 原田隼輔

日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会最終日の 11 月 12 日に「福岡県の活断層」と題した巡検が行われた。

巡検は、福岡市優良耐震プレート（電気ビル共創館）の見学から開始した（STOP1）。本プレートは福岡市建築基準法施工条例により定められた、警固断層に着目した耐震対策を施した建築物に交付されるものである。福岡市の条例は、日本で初めて活断層に関する建築規制について具体的な数値基準を設けたという特徴がある。耐震プレートや条例が断層との共存の PR になればという思いがあることを教わった。この後バスに乗り、警固断層に沿って南下し、大野城市^{かみおおり}上大利地区のトレンチ調査地点と断層露頭報告地点（STOP2）、並びに太宰府市の水城西門跡と河川の左横ずれの形跡（STOP3）を見学した。街の中では、活断層沿いに住居があることから、注視しても断層地形になかなか気づくことができず、貴重な経験となった。水城は土塁と濠からなる防衛施設であり、参加者から「かつて水城の南側に水を溜め、太宰府が襲撃に遭った際に水を流し、敵を倒した。」という言い伝えを教えてください。この水城の西門は断層上に位置しており、そこに連続する低崖も観察することができた。

水縄^{みのう}断層は、北側が相対的に低下する正断層である。本巡検では、正断層で形成されたとされる耳納山地を石垣地区付近（STOP4）から眺めた。正断層の場合、地表に明瞭な痕跡を残さないことがあるため、判読が難しいという話が挙がった。周囲の地形を眺めながら、正断層と逆断層の判読に関する活発な議論が行われた。

西山断層帯の南端付近に分布する杷木断層（STOP5）では、山側が低下する低断層崖があり、現地で容易に確認することができた。さらに西山断層帯は南部で曲線を描くように分布している。このような活断層の分布は、基盤の地質構造が関連しているのではないかと地質図を見ながら議論が行われた。

巡検の最後は、赤谷川流域の河川復旧事業の現場へ赴いた（STOP6）。発災当時の写真と現在の様子を見比べることで、自然災害の力の強さを目の当たりにした。記録を記憶として伝承するためには、本巡検のように実際の地形・地質を観察しながら語り継いでいくことが大切であると感じた。

全 6 地点を 1 日かけて見学した。午前曇天に見舞われたものの、午後には晴天となり、無事巡検を終了することができた。ご用意いただいた資料、並びに現地での説明、参加者同士の活発な議論により、福岡県の活断層について理解を深めることができた。参加者の声として、「街中に残る断層変位地形を見て回れたことは貴重な経験になった。」「断層地形を教育に使えないか。」といった声があった。活断層は時には地震を引き起こし、大きな被害を与える一方で、私たちが生活する大地を形成するといった恵みを与えてくれる。私たちは、活断層の災いと恵みの二面性について知ることが大切であり、活断層の巡検がそのきっかけになることを知ることができた。

最後に、巡検の企画・運営にあたられた副田宜男氏・堤 彩紀氏・安江健一氏・楮原京子氏に感謝申し上げます。



a) 水城から警固断層の断層崖を眺める



b) 正断層と逆断層で形成される地形の特徴について説明（石垣地区）



c) 耳納山地と三連水車を背景に参加者の集合写真



d) 赤谷川流域の河川復旧事業について記念碑の横で説明